相模原市立宮上小学校　R7 学校運営グランドデザイン

《学校教育目標》　子どもたちの自立に向けた教育活動の展開

～それぞれの自立　様々な自立～

〖自立に向かう子どもの姿〗

○主体的に考え、学び合い、課題に向き合える子　○互いに認め合い、尊重し合える子　○地域を愛し、地域を活かしていく子

〖学校教育目標の実現に向けた５つの重点〗

◎『安心・安全』：全ての子供の居場所がある学校づくり
◎『学びの実感』：「何を学んだのか」「何ができたのか」を実感できる授業づくり
◎『自己肯定感』：縦のつながり、横の連携を活かした相互尊重に基づく特別活動
◎『連携・協働』：家庭、地域、関係機関等とのつながりを活かす
◎『地域と創る』：地域の財（ひと・もの・こと）を活かし、地域とともに展開する教育活動

安心・安全を支える
コミュニティ・スクール

保護者・地域・学校で取り組む
地域の未来を創る人材の育成

［子ども］
安心・安全で楽しい学校生活をおくることができる
１人ひとりの自己肯定感・自己有用感が向上する
確かな学力・豊かな人間性を身に付けることができ

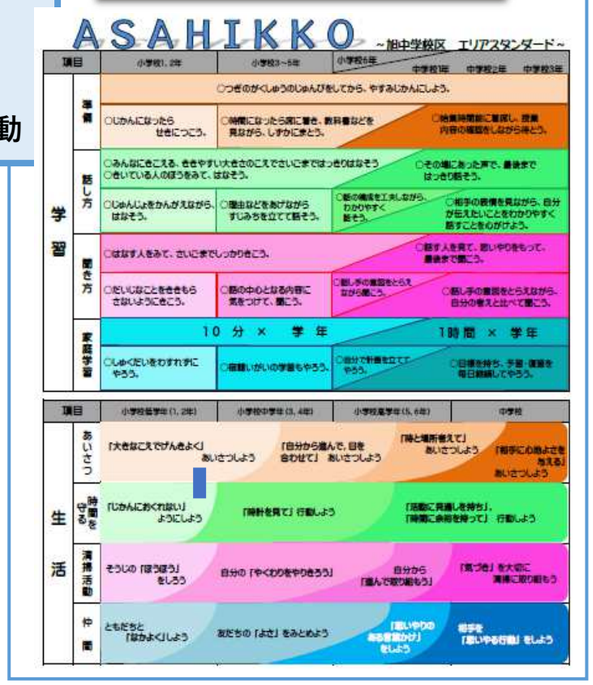
［家庭・地域］
登下校見守り
学校支援ボランティア
地域学習の場の提供

［学校］
学びの実感を伴う授業改善
個に応じた支援の充実
地域の力・材を活かした活動

求められる教職員の姿

○授業改善や児童理解に努め、指導力向上をめざす教職員
○自己研鑽に努め、専門性を追究する教職員
○児童・保護者・地域に寄り添い、信頼される教職員

小中一貫教育（旭中学校区）
エリアスタンダード



［R７学びG］

【主体的に考え、学び合い、課題に向き合える子の育成】
○主体性を育む視点を意識して、豊かに学ぶ子どもの育成に向けた授業づくりを実践する。
○旭中学校区エリアスタンダードを活用し、９年間の学びの系統性を意識した教育活動を推進する。
○キャリア教育の視点を取り入れた教育活動や、地域人材など地域の特色を取り入れた教育活動を推進する。
○情報機器の活用、および家庭・地域と連携した情報モラル教育の充実を図る。
【友だちと互いに良さを認め合い、助け合う子・進んであいさつをし、表現する子の育成】
○自分たちで課題を見つけ、主体的に話し合って実践し、解決することで、より良い集団や学校づくりを図る。
○学年の異なる他者と共に楽しくふれあい、交流を図ることによって、望ましい人間関係を深められるような活動を実践する。

［R７育みG］

友だちと互いの良さを認め合い、助け合いながら自分の生活をより良くしようとする子の育成
○自分たちで課題を見つけ、主体的に話し合って実践し、解決することで、よりよい集団や学校づくりを図る。
○運動の楽しさを実感し、友達と関わり合いながら自ら心身の健康や体力の向上を図る。
○清潔で心地よい環境づくりに率先して取り組む児童を育成するために、清掃指導の徹底を図る。
○望ましい生活習慣を確立するための健康教育・食育の充実を図る。
○子どもが自らの安全を確保しようとする交通安全・防災教育の推進を図る。

【R７サポート部

全教育活動を通して、すべての子どもたちが安心して安全に過ごせる学校づくりを推進
○個に応じた支援体制の確立に努め、一人ひとりの児童が安心・安全に過ごせる居場所づくりを推進する。
○児童理解・児童支援についての研修・研究推進に努め、教職員のサポート力向上を図る。
○教職員が協働して問題の未然防止・早期発見に努め、迅速に対応できるようチーム支援の充実を図る。
○学校全体でポジティブ行動支援に努め、一人ひとりが自信をもって生活できるようにする。